

# あさのちゃんねる

vol.33

2020年 春号  
(年4回発行)

特集

## 「自己判断は禁物！ 早期治療で症状改善を目指す」

皮膚科医長  
袖本医師インタビュー



### 連携登録医のご紹介

### 田中皮膚科クリニック

院長 田中 武司 先生



正しい手洗いで  
感染対策を  
行いましょう！

#### 病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

#### 病院の方針

- 【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。
- 【救急医療】断らない救急医療を目指します。
- 【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。
- 【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めます。
- 【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

# 自己判断は禁物！ 早期治療で 症状改善を目指す

「これぐらい大丈夫」と、放置してしまいがちな皮膚の病気。皮膚疾患も早期発見、早期治療で治療効果に差が出るため、自己判断は禁物です。皮膚科医である袖本医師に気を付けたい症状や治療法についてお伺いしました。

## 薬の塗り方など処置内容は 図で示してわかりやすく

当院の皮膚科では皮膚疾患全般に対して一般的な治療を行っており、ハートフルな対応を大事にしています。患者さんの年齢層は幅広く、ご高齢の方の場合、介護者であるご家族もご高齢であることが少なくありません。そのようなケースでは実際の処置をご家族にも見ていただき、帰宅後に正しい処置ができるように、ガーゼ交換の手順や日常生活での注意点を図で示しながら説明しています。安心感を持って受診いただけるよう、診察の最後に「他に気になることはありませんか」とお声がけすると、ご家族から介護の大変さについてお話が出ることもあります。そういった時には総合病院のメリットを生かし、必要があれば訪問介護の導入やデイサービスの利用につなげるといった柔軟な対応もしています。

皮膚疾患では適切な軟膏治療が症状改善の要となることがあります。アトピー性皮膚炎では皮膚炎予防のスキンケア(洗浄と保湿)や、症状悪化の要因(汗の刺激・ダニ・ハウスダストなど)を回避することも大切ですが、ステロイドやタクロリムス(免疫抑制剤)の塗り薬を主とした薬物治療も重要です。最短期間で治療効果を引き出すため、症状や薬について不安や困っていることなどを伺い、その上で症状に応じた軟膏の適切な外用量を、見て、さわって体感し、理解していただきます。皮膚炎は見た目には良くなっても、皮膚のなかでは炎症が残っていることも多く、段階的にお薬を減量することで、再燃しにくくすることを目的

皮膚科医長

そでもと きぬよ  
**袖本 衣代**

日本皮膚科学科認定皮膚科専門医

### 趣味

読書、水族館へクラゲを見に行くこと

### 健康法

旬を大事にした食生活

### 座右の銘

良薬は口に苦し

### 診察日

月～金曜の午前(月・金曜の午後は要予約)

としたプロアクティブ療法にも力を入れています。また、アナフィラキシー時の自己注射薬であるエピペン®（主成分 アドレナリン）を処方する際には、いざという時にあわてないように、注射のタイミングや方法について模型を活用してわかりやすく指導します。



## 医療・介護スタッフとの連携が回復につながる

日々の外来診療では院内スタッフだけでなく、かかりつけ医や訪問看護師、普段の療養環境を知る福祉施設のスタッフの皆さんにも助けられています。例えば、褥瘡は低栄養や、関節の拘縮、むくみなど様々な要素によって生じるため、普段療養に携わる施設のスタッフや主治医と連携を取り、患部に体重の負荷がかかりすぎないような工夫や栄養状態を良くすることで回復が後押しされることもあります。内服薬による薬剤アレルギーでは、症状の重篤化を避けるために原因薬の速やかな中止が必要です。患者さんご本人による薬の管理が難しい場合には、薬剤師と連携して原因薬を抜いてもらうことで誤服薬の回避ができる場合もあります。他にも、訪問看護や訪問薬剤師の介入で皮膚症状に気づかれ、受診につながることもあります。患者さんの早期回復に欠かせないこうした様々な分野でのお力添えに、感謝しています。

## 近年、増加傾向にあるかぶれと帯状疱疹に注意

増加傾向にある皮膚疾患として、接触皮膚炎（かぶれ）と帯状疱疹があります。接触皮膚炎は刺激物質やアレルギーの原因となる物質（抗原）が皮膚に接触し、紅斑や丘疹（盛りあがりのある硬い小さなぶつぶつ）、水疱などが生じます。原因は市販薬や染毛剤、目薬、化粧品、植物、ゴム製品、消毒薬、食べ物など様々で、それらに触れ続け

ることで全身に皮膚症状が広がり、重症化することもあります。いつごろから、どこに、どんな症状が出たのか、使用する薬や化粧品、生活・就業環境を問診で掘り下げ、原因を推定します。原因の特定には、パッチテストが有用です。帯状疱疹は水痘（水ぼうそう）の既往があれば誰でも発症する可能性があり、過労やストレスも原因となります。高齢者に多く見られますが、近年は若年者でもやや増加傾向にあるような印象があります。皮膚症状が出る数日前より、頭や顔、体の片側にピリピリとした痛みや違和感が出現し、その後、紅斑や水疱が見られます。帯状疱疹は皮疹が出てから3日以内の治療開始で合併する神経痛の軽減が期待できます。

## 患者さんからいただいたメッセージが原点

医学生の時、ホスピス病棟で若い女性患者さんからお話を伺う機会がありました。体調の悪さを少しも感じさせず、長年やってきたピアノへの想いや海外でのエピソードをユーモアたっぷりにお話してくださいました。体調が辛い中でもユーモアを忘れない強さと、医師としてスタート地点にも立っていない実習生を励ます心づかいを感じ、頭が下がる思いがしました。大学に戻って数ヵ月後、ご家族の手紙でその患者さんが亡くなったことを知り、同封されていたご本人の手紙にあった「いつまでも笑顔を忘れず、患者さんに真摯に対応する医師であってください」という一言が私にとって忘れてはならない原点として心に深く残っています。

皮膚の病気も早期発見、早期治療により、最短の治療期間で症状改善が期待できることが多々あります。普通の湿疹に見えても帯状疱疹や薬剤アレルギーであることがあります。また、足の皮むけのすべてが水虫ではありません。「これぐらいの症状で」と思わず、「これぐらいの発疹のうちに」と考え、お気軽にご相談ください。



## 近年増加傾向にある皮膚疾患について

### 帯状疱疹

70歳代をピークにご高齢の方にみられることが多く、水痘(水ぼうそう)の既往があれば、誰でも発症する可能性がある疾患です。高齢化社会の到来に伴い、疫学調査でも帯状疱疹に罹患する患者さんが経年で増加傾向にあることが指摘されていますが、ご高齢の方の帯状疱疹だけでなく、過労やストレスでも発症を後押しすることがあり、10代など若年者の帯状疱疹もやや増加しているような印象があります。

多くは皮膚症状の出現する数日前より、片側性(頭や顔、からだの右側ないし左側)にピリピリした痛みや違和感といった症状が出現し、その後には紅斑(紅い斑)や水疱(水ぶくれ)がみられます。帯状疱疹そのものに対して早期に治療を開始することでウイルスの増殖に歯止めをかけ、合併する神経痛を軽減する効果が期待されるため、皮疹が出現してから3日以内に治療を開始するのが最適とされています。

外来通院での内服治療が基本ですが、下記に当てはまる方は入院のうえ、抗ウイルス薬の点滴による治療がおすすめです。



- ① 免疫力が低下した状態(がんなどの内臓悪性腫瘍や免疫抑制剤を内服中の方など)
- ② 発疹が広範囲に分布している
- ③ 睡眠や食事など、日常生活に差しさわりを感じるほどの強い痛みがある
- ④ 頭や顔面の帯状疱疹

さらに、帯状疱疹では、神経痛のほかに、発症部位によって、中枢神経系(髄膜炎や脊髄炎など)、脳血管障害、眼科系(結膜炎や角膜炎、ブドウ膜炎、網膜炎など)、耳鼻科系(耳鳴、めまい、顔面神経麻痺)といった皮膚以外に合併症を生じる場合があります。その場合には、脳神経内科や眼科、耳鼻咽喉科など、各診療科と連携を取って治療をすすめさせていただきます。

### 接触皮膚炎(かぶれ)

複数の抗菌薬、消炎鎮痛薬、鎮痒薬、消毒薬含有など、様々な市販薬が市場に出まわるとなり、こうした市販薬によるアレルギー性接触皮膚炎も増加しています。外来性の刺激物質や抗原(アレルギーのもととなる物質)が皮膚に接触することによって紅斑や丘疹(盛り上がりのある硬い小さなぶつぶつ)、水疱などを生じます。

原因として染毛剤、市販の塗り薬、目薬や化粧品、植物、ゴム製品(手袋など)、消毒や薬剤、湿布、歯科材料、食べ物など様々なものがありますが、原因物質に曝露され続けること全身に皮膚病変が広がってしまう(接触皮膚炎症候群)など、重症化することがあります。

いつごろから(発症の時期)、どこに(症状の部位)、どのような症状が出現しているかを始めとして、日常生活で使用しているお薬や化粧品、就業環境や生活環境などを問診で掘り下げ、原因として疑わしいものを推定します。治療は、皮膚の炎症を止め、痒みを解消するためにステロイド外用薬を中心とした治療を行います。パッチテスト(要予約)により、原因の特定が可能ことがあります。



### 皮膚科を受診される方へのお願い

- ✓ 皮疹の原因が服用中のお薬のこともあります。また、飲み合わせに注意が必要な薬剤もあります。お薬手帳または、お薬の内容がわかるもの(薬局でもらう薬剤の説明書きなど)を持参ください。
- ✓ 患部がお顔の場合には、お化粧を落とした状態で受診いただくか、外来にメイク落としの用意もありますので、御入用の際には、お申し出下さい。また、かかりつけ医療機関のある方は、紹介状の持参をお願いします。

受付時間

〈月～土〉8:30～11:00 ※第2・4・5土は休診

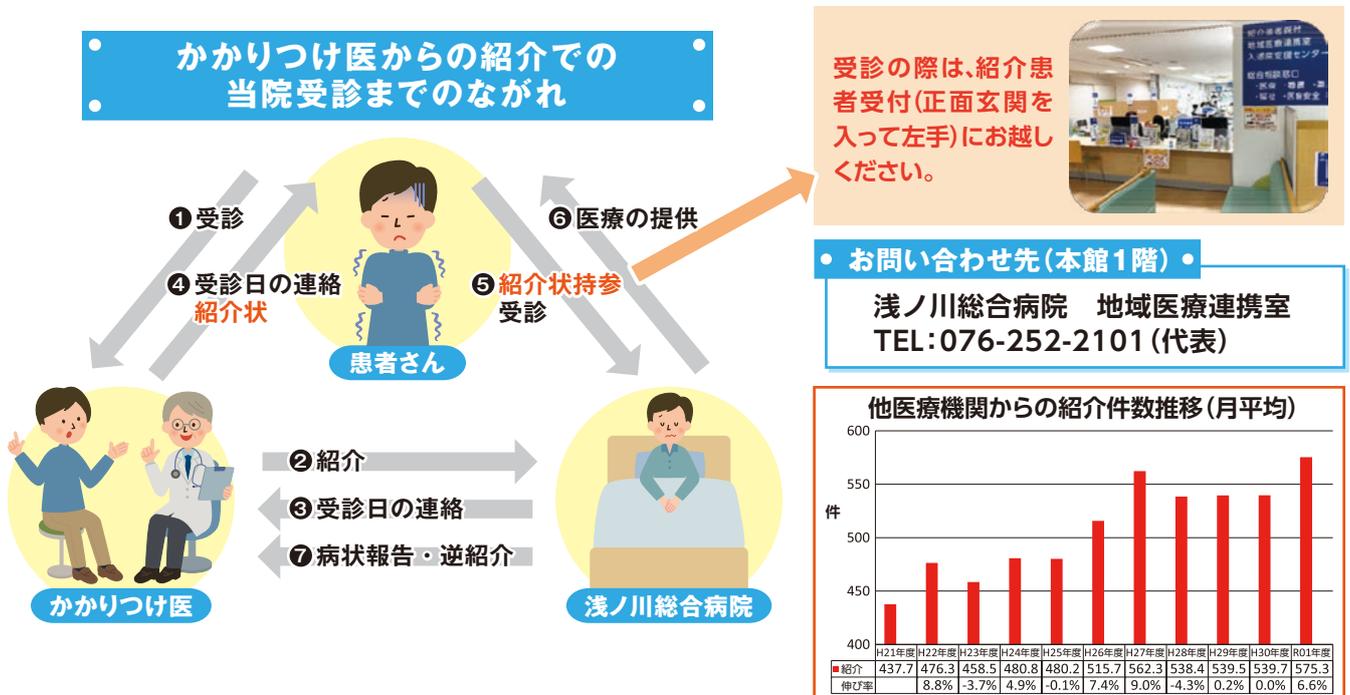
# 地域医療連携室紹介

地域医療連携室では、当院のケアミックス機能(高度な急性期治療や回復期のリハビリテーション、医療が必要な方の療養等)を活かし、救急から在宅まで地域の医療を守り支えるべく患者さんと地域の医療機関と当院を円滑につなぐ業務を行うことで、地域包括ケアシステム(地域の方々が住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで送る)の充実を図っています。

「地域医療連携」とは、地域の医療機関が機能を分担し、相互に連携して診療を行うことです。発病時にはまず地域の診療所(かかりつけ医)に受診し、その結果、専門の治療や検査が必要と判断された場合には、その対応ができる病院に紹介してもらうこととなります。そして、通院治療が可能となれば、再び紹介元の「かかりつけ医」に戻ります。それぞれの役割に応じた医療を提供することにより、地域全体で一貫して1人の患者さんを総合的にケアし、安心して受診できるより良い医療環境を提供することが可能となります。

「かかりつけ医」とは、地域に密着しており、日頃の通院を通して患者さんの病歴を良く知る健康管理のアドバイザーです。診療所は概ね18時頃まで診療を行っており、学校やお勤め帰りでも受診可能なので、いつでも相談に応じることが出来ます。また、どこかに変調を来した時には、すぐに専門医のいる病院を紹介してくれます。当院では、地域(ご自宅の近く)でご自分の健康管理のために「かかりつけ医」を持つことをお勧めしています。

「かかりつけ医」からの紹介で、当院での治療(入院など)や検査が必要となった場合のながれは、下図のとおりとなります。



## Q&A かかりつけ医への紹介って?

- Q1. どうして「かかりつけ医」に紹介するの?**

ご自宅の近くの身近な「かかりつけ医(診療所など)」で経過を診てもらうことで安心した医療サービスを継続することが可能となります。
- Q2. もう浅ノ川総合病院では診てもらえないの?**

紹介後も「かかりつけ医」とは情報共有・連携しておりますので、検査や入院が必要な場合は「かかりつけ医」からご紹介いただき当院での診察が可能です。
- Q3. 浅ノ川総合病院が「かかりつけ医」じゃダメなの?**

「病院」と「かかりつけ医」の“2人の主治医”をもつことにより、機能の分担、そして相互連携することにより地域全体で切れ目のない医療サービスの提供が可能となります。

地域医療連携室では、「かかりつけ医」と当院が協力し、皆様により良い医療サービスを提供できるよう努めます。お気軽にご相談ください。

## 連携登録医のご紹介

今回は、金沢市荒屋町の

『田中皮ふ科クリニック』をご紹介します。

私は1995年に開業しましたので、今年で四半世紀になります。それなりに地域医療に貢献できたのも、地域の方々、先生方、家族の支えがあってと感謝しております。

皮膚病の治療に関しては長らく大きな進歩がありませんでした。しかしここ最近10年、生物学的製剤を含め新薬が次々と出てきています。一例を言うとアトピー性皮膚炎は新薬で見違えるくらいに軽快するようになっております。まだまだコストの面に問題がありますが、これからも画期的な傾向は続きそうです。難治なイメージがある皮膚病もようやく長いトンネルから抜け出しそうな時代が来ています。

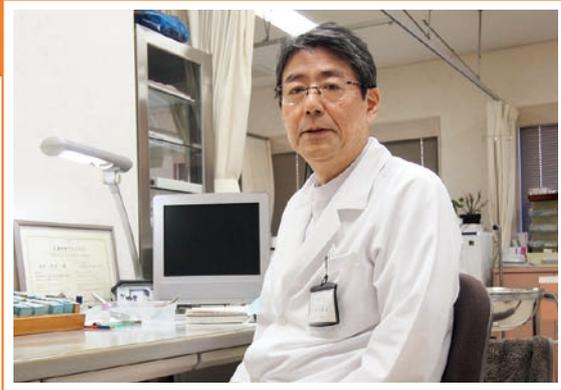
当院ではできない手術や正確な検査が必要な場合、多くは浅ノ川総合病院にお願いしております。改めて御礼申し上げます。そして今後も変わらずよろしく願いいたします。



クリニック外観

### 連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。



院長 田中 武司 先生

## 田中皮ふ科クリニック

診療科：皮膚科  
専門領域：皮膚科一般  
専門医資格：日本皮膚科学会皮膚科専門医  
日本医師会認定産業医  
略歴：石川県羽咋市出身  
石川県立羽咋高等学校卒業  
金沢大学工学部卒業  
金沢大学医学部卒業  
金沢大学皮膚科入局  
1995年10月金沢市荒屋にて開業。

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
14:00~18:00	○	○	○	/	○	○	/

休診日：日曜日、祝日、木曜午後

住所：〒920-3124  
石川県金沢市荒屋1丁目86  
電話：076-257-7373  
駐車場：あり  
アクセス：JR森本駅より、徒歩7分



# 新任医師紹介

今年4月に赴任された  
医師を紹介します！



内科

つげ しゅんすけ  
**柘植 俊介**

患者さんの目線に立った診療を心がけています。よろしくお願いします。

専門分野／リウマチ・膠原病、腎臓



内科

さわだ けい  
**澤田 慧**

皆さんの立場で考え、より良い医療を提供できるように努めます。

専門分野／糖尿病、内分泌



内科

はやしよしひろ  
**林 義大**

地域医療に貢献できるよう努力してまいります。よろしくお願いします。

専門分野／内分泌代謝

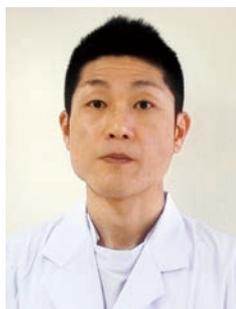


腎臓  
内科

しらかわ ともひこ  
**白川 智彦**

専門分野は腎臓ではありますが、現在勉強中の身です。内科全般についても勉強させて頂きたいので、これからよろしくお願いします。

専門分野／腎臓



外科

かわはら ようへい  
**川原 洋平**

身体への負担をなるべく軽減できるよう、鏡視下手術などの低侵襲治療を通じて、地域医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いします。

専門分野／消化器外科



外科

この たつひこ  
**河野 達彦**

一般外科、消化器外科を専門にしています。地域医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いします。

専門分野／消化器外科



整形  
外科

おく のりひろ  
**奥 規博**

6年ぶりに浅ノ川総合病院勤務となりました。患者さんにより良い医療を提供していきたいと思っています。よろしくお願いします。

専門分野／脊椎外科



耳鼻  
咽喉科

くまい まさみ  
**熊井 理美**

皆さんによりそい、地域医療に貢献できるよう精進していきます。よろしくお願いします。

専門分野／耳鼻科一般



泌尿  
器科

くにい けんしろう  
**國井 建司郎**

数少ない泌尿器科医として、少しでも貢献できるように頑張ります。今後とも、よろしくお願いします。

専門分野／尿路結石、感染症



リハビリ  
テーション科

すぎの のりやす  
**杉野 式康**

病気や事故から立ち直り、社会復帰を目指す方々のお手伝いができればと思っています。

専門分野／リハビリテーション、麻酔

# 新型コロナウイルス感染症対策、お願いについて

## 新型コロナウイルス感染症特別対応を、 下記のとおり実施しております。

なお、最新の情報については当院ホームページをご参照ください。

### 来院される方へ

- ・正面玄関は発熱の有無で出入口を分離しています。また、発熱、風邪症状がある方は確認させて頂いております。
- ・出入口の開錠時間を変更します。  
「正面玄関」(利用できる時間帯)  
平日 8:00～17:00 / 土曜 8:00～12:30(第2土除く)  
※上記時間帯以外は時間外入口をご利用ください。  
「時間外入口」正面玄関の開錠時間帯は閉鎖いたします。  
「東館入口」常時閉鎖いたします。



### 当院を受診される方へ

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、当院の外来や透析センターにおいて発熱・風邪症状を確認させて頂いております。ご協力をお願い申し上げます。

### 当院に通院中の方へ

1)換気の悪い場所、2)多くの人が密集する場所、3)近距離(互いに手を伸ばしたら届く距離)の「3つの条件が同時に重なった場所」を避け、体調管理にご留意頂きますようお願い申し上げます。

例:スポーツジム、ライブハウス、展示商談、懇親会等

### 面会の方へ

- ・入院患者さんへの面会を禁止いたします。  
ご家族で入院・退院の手続き、病状説明、手術前後など、**病院が必要と認める場合**は入棟が可能です。  
対象の方は本館1階コンビニ前の「許可証発行・荷物預かり窓口」にて許可証を発行いたします。  
入棟をされる方は必ずマスクの持参と着用・手指消毒をお願い申し上げます。
- ・着替え等の受け渡しが必要な場合
  - 平日 8:30～17:00 / 土曜 8:30～12:30…………… 本館1階コンビニ前の「許可証発行・荷物預かり窓口」にお申し出ください。
  - 平日 17:00～20:00…………… 夜間受付窓口にお申し出ください。
  - 日曜・祝日・第2土、上記以外の時間帯…………… 受け渡しはできません。

### 新型コロナウイルス感染症が疑われる方へ

新型コロナウイルス感染症が疑われる方は、事前に「帰国者・接触者相談センター」(各保健福祉センター等)へご相談頂きますようお願い申し上げます。

**帰国者・接触者相談センター(金沢市保健所) 076-234-5106**

## お知らせ

### ✿ 創立記念日休診のお知らせ

2020年6月1日(月)は創立記念日につき、外来診療を休診いたします。(救急の場合は救急外来で対応します)

### ✿ イベント等お休みのお知らせ

以下のイベントは新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止、お休みとさせていただきます。

**お休み** ・育児教室 ・安産教室 ・骨盤教室 ・ベビーマッサージ ・糖尿病教室 ・がんサロン  
**中止** ・春の健康フェア2020

お問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL:076-252-2101(代) URL:<http://www.asanogawa-gh.or.jp/>

メールアドレス:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp

